

各 位

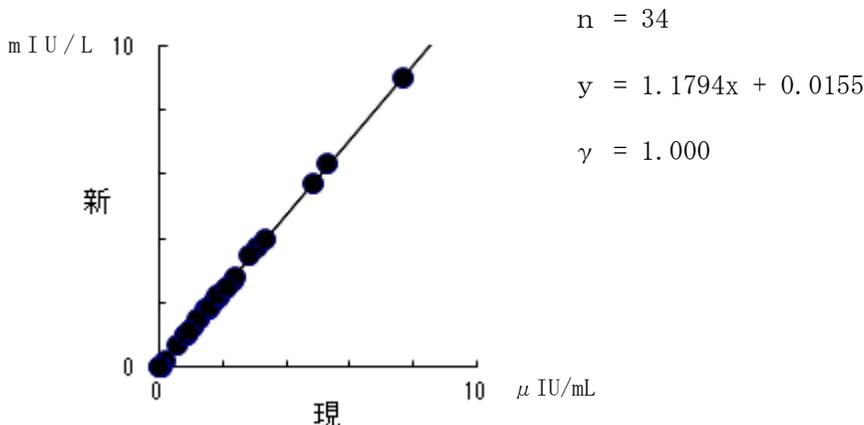
八戸市医師会
臨床検査センター**甲状腺刺激ホルモン（TSH）測定試薬と、基準値の変更について**

平素、当検査センターをご利用いただきありがとうございます。

日本臨床検査医学会標準化委員会から甲状腺刺激ホルモンTSHのハーモナイゼーションについての方針が示されたため、2022年1月4日から当検査センターでも、下記のようにTSHの試薬変更と、基準値を変更いたします。

記

	新	現
項目名称(コード)	TSH (151)	TSH (151)
検 体 量	血清0.5mL	血清0.5mL
検 査 方 法	CLEIA	CLEIA
測 定 試 薬 名	ルミパルスプレスト TSH IFCC	ルミパルスプレスト TSH
基 準 値	0.61~4.23 mIU/L	0.541~4.261 μ IU/mL

相 関***変更の経緯**

甲状腺刺激ホルモン（TSH）値は測定キット間変動が大きいことが指摘されており、IFCC（国際臨床化学連合組合）C-STFC（甲状腺機能検査標準化委員会）を中心に国際標準化に向け取組みが行われてきました。TSHは基準となる測定法がないため、各試薬メーカーの測定値の平均値にそろえる（ハーモナイゼーション）方法が採用されました。2020年1月30日に、日本臨床検査医学会標準化委員会からTSH値のハーモナイゼーションについての方針として、各試薬に補正係数を設定してIFCC基準適合検査値（Phase IV）に準じた測定値とすること、日本人成人（20～60歳）のハーモナイゼーション後の基準範囲が0.61～4.23 IU/mLであることが示されました。